

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 26 日 更新

事務事業名		アニメ・マンガを活かしたまちづくり事業					☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	3	教育の健康					所属部	教育委員会	課長名	牧野 淳一	
	施策	10	生涯学習の推進					所属課	生涯学習課	担当者名	米村 大	
	施策の柱	37	学習の啓発と参加機会の提供					所属班	生涯学習班	(内線)	1512	
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 7	事業連番 11544	根拠法令					
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	- 指定管理者との年度協定の締結 - 市に賑わいをもたらすことや市外へPRを行うことを目的に、アニメ・マンガ・映像等を活用したイベントの実施。 - 市に縁のある漫画家やアニメクリエイター、更にはアニメ・マンガを活かしたまちづくりを行っている団体の協力を得て、市の資源を活かした地域CM制作やマンガ単行本等を作成し、市内・市外にPRを行う。 - コンテンツ産業の誘致に向けた関係団体との協議。
【業務の流れ】	- 市に賑わいをもたらす施策として、本市に縁がある漫画家、映像プロデューサーと熊本県内で活躍されているNPO団体、更には専門性がある大学教授を招きシンポジウムを開催する。 - 指定管理者のモニタリング
【主な予算費目】	報酬（地域おこし協力隊） ・ 職員手当等（地域おこし協力隊） ・ 旅費（地域おこし協力隊） ・ 負担金補助及び交付金（地域おこし協力隊）
【意見や要望】	- アニメ・マンガ等を活用した事業は、求めた声がある。 - この事業は、他の自治体ではあまり取り組まれておらず、将来の市の発展に効果があると思われる。 - コンテンツ企業から合志市で事業を営みたいと要望があっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 【目的】地域おこし協力隊により賑わいのあるまちづくりに取り組むため。 【内容】市に賑わいをもたらすことや市外へPRを行うことを目的に、アニメ・マンガ・映像等を活用したイベントの実施。市に縁のある漫画家やアニメクリエイター、更にはアニメ・マンガを活かしたまちづくりを行っている団体の協力を得て、市の資源を活かした地域CM制作やマンガ単行本等を作成し、市内・市外にPRを行う。コンテンツ産業の誘致に向けた関係団体との協議。地域おこし協力隊を任用し補助金を交付した。 【実績】合志マンガミュージアムでは、合志マンガ鑑賞において「忍者マンガ100年」の講話と「ナイトミュージアム」の2回を実施した。ワークショップは「デジタルイラストを撮ろう」など9講座(のべ27コマ)を開催した。また特別展「松森正の世界」7月1日・9月28日の開催に合わせ「合志マンガ祭り2023」を7月22日に行い松森正トークショーを開催した。「YO・NIN・MANフェスタ2024-忍者編-」は2月23日(祝日)種々なイベント等を通じ、賑わいのあるまちづくりに寄与した。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) - 指定管理者(こうし未来研究所)との年度協定の締結 - 地域おこし協力隊の任用(継続)および補助金の交付 - 指定管理者のモニタリング - 合志マンガミュージアム空調機設置工事	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) → ア 合志マンガミュージアム自主事業数 → イ		(単位)	予算の主な増減の理由 【拡充事業】合志マンガミュージアム空調機設置工事による工事請負費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民		(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) → ア 合志市民 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 賑わいのあるまちづくりに取り組む		(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) → ア 合志マンガミュージアム入場者数 → イ 合志マンガミュージアム入場料売上
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 アニメやマンガを活かした事業に関心があるかを指標とした。			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
投 入 費 量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	3,738	4,068	4,268	4,317	8,019	4,268	4,268
	人件費	(A) 事業費計	千円	3,738	4,068	4,268	4,317	8,019	4,268	4,268
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	5	4	1	3	1	1	1
人件費	延べ業務時間		時間	360	350	200	530	200	200	200
	(B) 人件費計		千円	1,407	1,332	796	1,930	796	796	796
	トータルコスト(A)+(B)		千円	5,145	5,400	5,064	6,247	8,815	5,064	5,064

事務事業名	アニメ・マンガを活かしたまちづくり事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した 様々なイベント等を通じ、賑わいのあるまちづくりに寄与した。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 アニメ・マンガを活用した取組みについて、市民参画の事業を実施し市民の理解も得られてきた。今後はコンテンツ企業と連携し更なる発展に努めたい。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 アニメ・マンガを活かした取組みを行っている自治体・大学等が近年増えてきている。今後はこのような自治体等と連携して進めることで成果の向上余地がある。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業のためクリエイター創業育成事業と統合余地あり。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 施設の機能を発揮させるための最小限の予算で執行しているため削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 合志マンガミュージアムのキューブゾーン（展示室）において入場料を徴しているの、公平性は保たれる。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 アニメ・マンガ文化による賑わいのあるまちづくりに市が取り組むことには異論もあるが、故郷出身の漫画家等を活かすことは市の役割である。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

アニメ・マンガを活かしたまちづくりで、故郷出身の漫画家を活用することで賑わいがもたらされることが期待できるが、出版社等の著作権関係で協力を得ることが非常に難しい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												